

この度は、キーレス連動セキュリティシステムをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。(純正キーレスや外品のキーレスと接続できます。)

基本キット製品構成

- ・コントローラー(赤1) 1個
- ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット
- ・スターターカットリレー 1個
- ・セキュリティオフスイッチ 1個
- ・センサー用専用ハーネス 1セット
- ・ダイオード 1本
- ・スキヤナブルーLED(絶対にLED点灯チェックはしないで下さい。) 1セット
- ・ハザード接続モジュール 1セット

配線方法

コントローラー ケーブル線色	説明と主な接続先
赤	+ 12V常時へ接続。(12V専用で24Vでは使用できません。)
橙	ACC電源に接続。(エンジンスターターを使用される場合、IGに接続して下さい。)
黒	ボディアースへ接続。
黄	サイレンの赤線へ接続。
緑	ハザード接続モジュールの1本側へ接続。
青	車両の運転席モーター片側ロック線へ接続。(+コントロール)
紫	車両の運転席モーター片側アンロック線へ接続。(+コントロール)
灰	ベンツタイプの場合、ロック・アンロック共通線へ接続。(ロック時0V、アンロック時12V)
白	スキヤナの黒線へ接続。
茶	スターターカットリレー駆動回路へ接続。 走査型スキヤナ(DEI 629L)のマイナス線へ接続。スキヤナのプラス側は常時12Vへ。
赤/白	ドア開閉検知信号線へ接続。付属のボンネットピンスイッチの片方へ接続。(開で-)
橙/白	純正ハザードアンサーバック線へ。(通常左右いずれかのウインカー線へ接続。)
白/黒	セキュリティオフスイッチの片方へ接続。
黄/白	接続不要。
注意事項	印の線は接続しなくてもかまいません。 接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。 結線図は裏面をご覧下さい。

基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください)

- J P 1: ロック・アンロックしたときにハザード出力させたくない場合、オープンにして下さい。
- J P 2: ロック・アンロックしたときにサウンド出力させたくない場合、オープンにして下さい。
- J P 3: アンサーバック時のハザードの出力パターンを変えたい場合は、オープンにして下さい。オープンで使用した場合、ハザードランプの点滅スピードが遅くなります。

J P 4: アンサーバック時の音と音の間隔を短めにしたい場合は、オープンにして下さい。

J P 5: 純正ハザードアンサーバック(上記 橙/白線)を使用しない場合、必ずオープンにしないで下さい。純正ハザードアンサーバック線を使用する方が、セキュリティレベルはアップします。

ジャンパー設定について(本体ケース内、基板上のジャンパーターミナル(黒い樹脂、以下JPT)で設定します。)
ショート: JPTを付ける。 オープン: JPTを外す。

取扱説明書

1. セットアップ方法

- (1) 配線が終わったら、専用ハーネス14ピンのコネクターとセンサー用コネクターを接続してください。
- (2) キュ！音が鳴り、内部のコンピューターが車の状態の学習を開始します。
- (3) 車のドアを閉め、アンロックの状態で、再びキュ！音が鳴るまでお待ち下さい。これで学習が終了し、準備は完了です。

2. 操作方法

- ロック・アンロックボタンが共通タイプ(ボタンがひとつ)の場合またはロック中はロック信号が出ない場合
- (1) ロックボタンを押してください。
 - (2) キュ！キュ！と鳴り、約5秒後に監視が始まり、スキヤナがゆっくり点滅を始めます。
 - (3) センサーが異常を検知すると音とハザードで警告または警報を行います。詳細は後述。
 - (4) ロック状態でボタンを押すとキュ！キュ！と鳴り、スキヤナが消灯し、監視を解除します。
 - (5) ロックしたときにセンサー監視を無効にしたい場合は、セキュリティオフスイッチで無効にします。(鍵はロックのままで、ドア開閉検知信号のみ監視します。)スキヤナは早く点滅します。

ロック・アンロックボタンが別々タイプ(ボタンが二つ)の場合

- (1) ロックボタンを押してください。
- (2) キュ！キュ！と鳴り、約5秒後に監視が始まり、スキヤナがゆっくり点滅を始めます。
- (3) もう一度ロックボタンを押すとキュ！と鳴り、センサー監視を解除し、スキヤナが早く点滅します。(鍵はロックのままで、ドア開閉検知信号のみ監視します。)
- (4) その状態で再びロックボタンを押すとキュ！キュ！と鳴り、センサー監視が始まります。
- (5) センサーが異常やドア開を検知すると音とハザードで警告または警報を行います。詳細は後述。
- (6) アンロックボタンを押すとキュ！キュ！と鳴り、監視を解除します。
- (7) 車がロック状態時ロックボタンが無効な車の場合、ロックしたときにセンサー監視を無効にしたい場合は、セキュリティオフスイッチで無効にします。(鍵はロックのままで、ドア開閉検知信号のみ監視します。)スキヤナは早く点滅します。

監視中に軽度の異常があった場合は、音が4回鳴り、重度の異常があった場合は、5回音が鳴ります。

3. 警告と警報の仕様について

- (1) 軽度の異常を検知するとキュ・キュと2回警告音が鳴ります。それから約15秒以内に再度検知した場合、4回警告音が鳴ります。同様に6回、8回と警告音が鳴りますが、次に感知した場合は、約15秒間サイレンが鳴り、同時にハザードとスキヤナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキヤナは引き続き60秒間点滅します。警告してから15秒間何も検知しなかった場合、次の警告は2回から始まります。
- (2) 重度の異常を検知するサイレンが30秒鳴り、同時にハザードとスキヤナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキヤナは引き続き60秒間点滅します。
- (3) 警報を途中で解除する場合は、ロック・アンロックいずれかのボタンを押します。

4. セキュリティ監視中にバッテリを外された場合について

- ロックしてセキュリティ監視中にバッテリをはずされ、その後バッテリを接続した場合、再び監視中が継続されます。また、警報中にバッテリを外され、その後バッテリを接続した場合、再び警報が30秒間行われます。これにより、セキュリティ解除の目的でバッテリを外しても、監視が中断されることはありません。また、別売のバックアップサイレンをつなげば、バッテリをはずしてもサイレンは鳴り続け、より厳重に車両を守ることが可能です。

5. 緊急回避方法について(サイレンが鳴りっぱなしで止まらない等の対処方法)

- 万一本装置が誤動作もしくは警告しているときにリモコンが効かなくなった場合、赤線の途中のヒューズを抜いて下さい。ヒューズの部分を運転席のカーペットの下等に隠しておかれることをお勧めいたします。



基 本 結 線 図

